

団体名 宇部市地球温暖化対策ネットワーク（宇部市）

代表者名	渡邊 裕志	団体の目的	
構成員数	107団体・個人87人	低炭素社会の形成を目指し、温室効果ガス削減に向け、産・官・学・民の相互理解と協力のもと、地域における地球温暖化対策を協議・実践し、環境共生都市の実現に寄与する。	
設立	2002年(H14年)10月		
問い合わせ先	0836-38-8183（事務局）		

事業名 地域の活動から家庭の省エネを拡げる「自治会対抗省エネ合戦」

事業の目的

- ・脱炭素社会の形成を目指して、国民運動COOL CHOICEの実現を促進する。
- ・地域コミュニティと連携し、家庭での省エネ活動を拡げ、民生部門のCO2発生量を削減する。

事業の内容

- ・自治会対抗省エネ合戦
 内容：電力需要が高い7～9月に、家庭での省エネ活動に取り組み、電気使用量の削減を競う
 5月 参加チーム募集
 6月 募集締切 参加：20チーム（108家庭）
 7月 省エネ合戦スタート（9/30まで）
 ・参加チームに、メール・LINEによりガイドラインを送付
 ・「省エネチェックシート」を参考に省エネを実践
 10月 7/1～9/30の電気検針票の提出
 11月 電気消費量の集計、削減率算出、結果まとめ
- ・活動報告会
 開催日：12月20日10:00～11:30 場所：宇部市立図書館
 内容：「自治会対抗省エネ合戦」結果発表、表彰、家庭での取組内容の紹介
 【表彰】チーム部門：5団体 家庭部門：10家庭

事業の成果

- ・コロナの影響により自宅で過ごす家庭が多く、思ったほどの電気使用量の削減はなかったが、省エネを実践してもらうことで市民への意識づけができた。

活動現場レポート チーム対抗「家庭省エネ合戦」報告会（R2.12.20／宇部市立図書館）

この日は、7～9月の3か月間、消費電力削減対抗戦に参加した家庭の取組報告と表彰が行われました。

溝田代表の挨拶に続き、事務局長の活動報告では、コロナの影響により家で過ごす時間が長く、エアコン等の使用時間が増えたことで、昨年度に比べ参加チーム全体の消費電力が3.7%増加したと説明がありました。

続いて、対抗戦の成績が発表され、上位の5団体と10家庭に表彰状が贈られました。

表彰後は、各家庭での消費電力削減に向けた取組内容紹介が行われましたが、何れも日頃から心がけて実践されているもので、会の活動を通じて、家庭での取組がさらに普及・拡大していくことが期待されるものでした。



表彰



記念撮影